

# ささやま

編集責任者

橋上中学校

## 宿毛市中学生弁論大会

橋上中学校から2名出場

7月7日(火) 宿毛市中学生弁論大会が宿毛文教センターで行われました。

本校からは2年生の小島阿未さんと3年生の篠原菜那さんが代表として出場しました。小島さんは「2年生になって」という題で、1年生の時の自分の生活を振り返りながら、2年生では、こうありたいという思いがしっかりと発表出来ていました。また篠原さんは「本」と題して、本の魅力、自分と本の関係を深く掘り下げて語られていました。立田教育長もレベルの高い発表であったとおっしゃってくださっていました。2人ともお疲れさまでした。



発表のために早めに昼食をとっています



篠原菜那さん「本」



小島阿未さん「2年生になって」

右の写真は2人の発表の様子です。会場は宿毛市の中学生、保護者、地域の方々、教職員とたくさんの方が聞いていました。その中で立派な発表ができたと思います。

## 表彰状

閉会式では、表彰状と楯をもらいました。立田教育長は一人ひとりに言葉をかけて表彰状を手渡していました。



夏休みの生活  
後数日で1学期が終わります。夏休みの

間も部活動や補習など、いろいろな行事が計画されていますが、学校を離れての生活が多くなり、解放感から生活のリズムを崩しがちになります。しっかりとしているようでも、まだまだ不安定な面や判断力に乏しいのが中学生だと思います。

夏休み前に学校でも学年、全校集会で「夏休みの生活」について指導はしましたが、ご家庭でも次の点に留意され、充実した夏休みになるよう、ご配慮・ご協力をお願いいたします。また、全校生徒に「夏休みの生活について」を配布しました。是非とも一読して頂けたらと思います。次の3点は特に注意してください。

- ① 規則正しい生活をしよう！  
・ 昼夜逆転した生活にならないように「早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ」を徹底しよう。
- ② 自分の命を大事にしよう！  
・ 交通事故、水難事故にはくれぐれも気をつけてください。
- ③ 1学期の学習の復習をしよう！  
・ 学習は自分のために自分でするという自主的な態度を育ててください。

## 参観日三者面談終わる

参観日、3者面談にお越

し下さりありがとうございます。たため、急な変更をしたことになりました。当初、笹平キャンパスをとお詫びいたします。申し訳ありませんでした。

## 親の鏡の子

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育つと、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言われて育つと、子どもはみじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っこみじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
励ましてあげれば、子どもは自信をもつようになる  
広い心で接すればキレル子にはならない  
褒めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを  
知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世はいいとこだと思えるようになる  
※この詩は、ドロシー・ロー・ノルト著の「子どもが育つ魔法の言葉」に掲載されたものです。みなさんも、この詩を何回か目にしたことがあると思いますが、私たちが、親として・大人として、わが子だけでなく、子ども達にどのように関わればいいのかを教えてください。子ども達にどのような悩み、悩んだときこそ、家庭の力、地域の力で、心も体も元気な子ども達を育てていきたいと考えております。明日から、子ども達を楽しみにしている夏休みがやってきます。しっかりと1学期のまとめができるように、保護者の皆様のご協力を宜しくお願いいたします。